

★ 連載「HACCP 導入、運用のコツ」

旭川食品産業支援センター 浅野 行蔵

No.40 : 「HACCP を PDCA サイクルで回すって？」

HACCP では、いろいろな言葉が出てきて困っている、と言われる方もあるでしょう。表題の言葉も解説書には時々見かけます。日常生活で使わない言葉が多いと煙に巻かれていると疑いますね。表題の PDCA を回すは、具体的行動として何をすることなのか？食品製造と販売を続けている毎日の中で、他県の食中毒のニュースなどを聞き、わが社でも起こるのでは？と、はっと不安になることがあります。その時こそ、ニュースと同じ原因を自社に当てはめてみる、すなわち原則 1 の 6 項目の危害分析表に具体的に書いてみて、自社の製造工程に当てはめます。現状の CCP でのコントロールで事故は防げるのか？具体的に調べてください。

このように新たに出てきた心配事（危害）を自社の危害分析表に書き込んで、検討することが PDCA を回すことで、心配事への対策が書き加わったこととなります。

【メルマガ：第 468 号（2021 年 8 月 2 日発行）より】

No.39 : 「HACCP を始めたら製造しやすくなった、となるのが正しい導入」

今年 6 月から HACCP の導入は、法的に制度化され、すべての食品関連企業が行うこととなった。HACCP を導入したら、製造しやすくなった！と言っていますか？もし、煩雑になった！経費がかかる！と感じておられたら、ボタンの掛け違いがあります。コンサルにまかせっぱなし、ではないですか？コンサルは、HACCP を理解し、そして現場の作業も理解していますか？幾つもの企業がコンサルの選択間違いで生産性を落としています。企業幹部が、安全性向上のために主体的に考え、動くことが不可欠です。コンサルにまかせれば法律をクリアーできるだろう、と丸投げすると製造工場は大混乱となり、それに耐えかねた貴重な人材も失う結果を招きます。生産性が向上していないなら HACCP の導入の仕方に問題ありです。

【メルマガ：第 467 号（2021 年 7 月 1 日発行）より】

No.38 : 「意地悪な事態を提案する役割」

先月は、小惑星探査衛星はやぶさ 2 も HACCP の方法を使っていたと述べたが、はやぶさ 2 の運用チームは、ハザード（危害）、「心配事」をどんどん列挙して数百にも達した。そんなに心配事が出るのか？と問われると、意地悪な状況を提案する役割の人を 4 人作って、あえて意地悪状況を提案して、それらに対する対策を組み立てて行ったそうだ。

食品企業においても「意地悪な状況の提案者」を作っても「心配事」の数を増やそう。

北海道の春先ならどこにでもあるツララの落下が引き金で、大会社もつぶれた事件からもう20年が経った。些細なことから重大な結果につながる怖さを HACCP で減らして頂きたい。はやぶさ2のように意地悪な情況の提案者を作って「心配事」をたくさん作って6項目の危害分析表で整理し、処置を決断して、会社を守って頂きたい。

【メルマガ：第463号（2021年6月1日発行）より】

No37：「はやぶさ2も HACCP のやり方を使っていた」

「はやぶさ2」は、C型小惑星リュウグウに接近して、母船から切り離れた小型着陸機を着陸させて岩石サンプルを回収し、そして地球に帰還させた。

その成功の裏には、HACCPと同じ考え方の運用管理があった。

HA ハザードアナリシス（危害分析）、これを「心配事」とすると解りやすいと言っていますが、はやぶさ2では、数百におよぶ「心配事」を出して、それらをチームで討論して回避方法、解決方法を一つ一つ具体化していった。そしてたった1回の本番に臨んだ。

エンジンが故障したら？燃料が漏れてしまったら？太陽電池が電気を作れなかったら？数百に及んだ「心配事」は、意地悪なほどの事態も含めて、全力で「心配事」を作り出した。

これは、HACCPの原則1のHA（危害分析）の行程と同じです。皆様の会社のはやぶさを飛ばして下さい。

【メルマガ：第462号（2021年5月6日発行）より】

No36：「心配事（危害分析）は、HA表に随時追加して HACCP を育てます」

食に関わる方は、食中毒や異物混入のニュースが気になります。気になった時に自社製品も心配になります。ニュースの原因になった危害、心配事をすぐさま自社の HACCP と比べます。既に検討しておればOK、否なら心配事を原則1の「6項目の危害分析表」に追加して、自社なりの「決断」を加えていきます。ニュースと同じ事故になり得るのか？自社では防げるのか？同じ穴に落ちないために防ぐための製造法、管理法を作って、決断していきます。

心配事を発見した時、自社製品にあてはめて HACCP を強化して育てていくのです。HACCPプランを作った時には知られていなかった感染症や有毒成分や成分変化など様々な心配事が出てくるのが常です。HACCPを常に育てていきましょう。

【メルマガ：第460号（2021年4月1日発行）より】

No35：「衛生管理 vs. HACCP 違いを理解していますか？」

衛生管理 と HACCP が、全く異なったものだと理解することは会社にとって重要です。違いがわからない方も多いのが現状です。原因は、地域 HACCP の審査項目や厚労省の言葉の使い方にあります。

安全な食品を売りたい！は経営者の想いです。具体的に何をして実現するかです。HACCP

は、逆に不安全な事態を考えて、それを避ける具体策を作る、という道筋です。

一方、衛生管理を語る時に「どこまで達成するか」の視点が抜けていることが多いのです。キッチンや製造工場が、ピカピカで「見た目」が衛生的であるのは好感されます。でもお金がかかる場合が多いです。

何をどこまで実施すれば安全を得られるのか？社長の判断と決断が求められているのです。

この表題の Web 講演会を 3 月 4 日に開催します。是非ご視聴下さい。

【メルマガ：第 457 号（2021 年 3 月 1 日発行）より】

No34：「非定常作業こそ HACCP を導入する」

感染症拡大で食品企業のビジネスに大きな影響が出ています。

生き残るための方向転換をせざるを得ない戸惑いや混乱も切り抜けねばなりません。

こんな時こそ HACCP を入れて業務事故を防ぎましょう。食品の仕様、製造法、配送の変化を変更しても安全を保たねばなりません。変更した非定常作業への「危害分析」を実施しましょう。難しく考える必要はありません。「心配点」は何かをリストアップする、それぞれの心配点で我が社は具体的にどんな行動を

するかを決める。これらに関係者で共有する、のです。

生き残りのための業務転換で食中毒を出したのでは元も子もありません。

「危害」に関係者で共有し、非定常だった業務も得意技へと進化させて新時代を開きましょう。

【メルマガ：第 456 号（2021 年 2 月 1 日発行）より】

No33：「2021 年は日本の HACCP 元年です」

新年おめでとうございます。今年の 6 月から全ての食品企業で HACCP の実施が求められます。

法律施行の猶予期間の最後です。どの企業も安全性向上のために HACCP の手法を導入しましょう。センターでは、提供されている食品の性質に応じて、適切な HACCP 実施ができるように、引き続き具体的なサポートを進めてまいります。

リアルおよび Web セミナーそして企業へ出向いてのご相談にも承ります。

旭川および周辺からの食中毒事故を防ぎましょう。

【メルマガ：第 455 号（2021 年 1 月 5 日発行）より】

No32：「HACCP の記録は Codex の基準に従うべし」

「HACCP を実施していることを示すのに何を出版すれば良いのか？」という質問をしばしば受ける。答えは、元々 HACCP を説明した文章に明確に書かれており、HACCP の原則 7 そのものです。

Codex の文章として明確に書かれています。答えは、製品概要書（手順 2）、製造フロー図（手順 4）、6 項目の HA 表（原則 1）、CCP とした経緯（原則 2）、モニター状況（原則 4）、そして HACCP の運用が進めば、CL 外れで修正した状況（原則 5）、HACCP プランを変更した状況（原則 6）の記述を残せと書かれています。いずれも HACCP を順番に進めれば、当然のようにできあがってくるものです。

残しておけば良いのです。原則 7 とは、やったことを残しておきなさい、というだけなのです。

【メルマガ：第 454 号（2020 年 12 月 1 日発行）より】

No31：「HACCP プラン作りは、製造の改善につながる」

HA（危害要因分析）の成功のコツは、「心配事」を出しに出して、あらゆる困った事態を想定することです。センターでは、企業での実際の製造についてのプラン作成をお手伝いしています。

心配事をたくさん出して行くと、製造手順を変えた方が心配事を減らせることに気がつくことがあります。変えた場合の心配事もまた出して、けんけんガクガクと議論します。その結果、製造手順を変えてしまった例が幾つもあります。手順を変えると効率も向上し、品質のぶれも少なくなる例がほとんどです。

HACCP は製造手順を基本から見直すこととなります。新商品の企画でも HACCP を入れてゆくのは自然です。法律だから、ではなく、これを機会に基本からの見直しとなる HACCP プラン作成を御社でも進めましょう。

【メルマガ：第 453 号（2020 年 11 月 2 日発行）より】
